



## 第4章 地域別方針

---



第4章 地域別方針

1 地域別方針について

(1) 地域区分の考え方

第7次小樽市総合計画では、地勢や生活圏のまとまりなどを考慮した地域区分がなされており、まちづくりの基本的単位となっています。このため、地域別方針は、当該区分を基本としつつ、石狩湾新港地区を銭函地域に含め、9地域として1次マスタープランの区分を引き継ぎ、各地域の目標などを設定します。

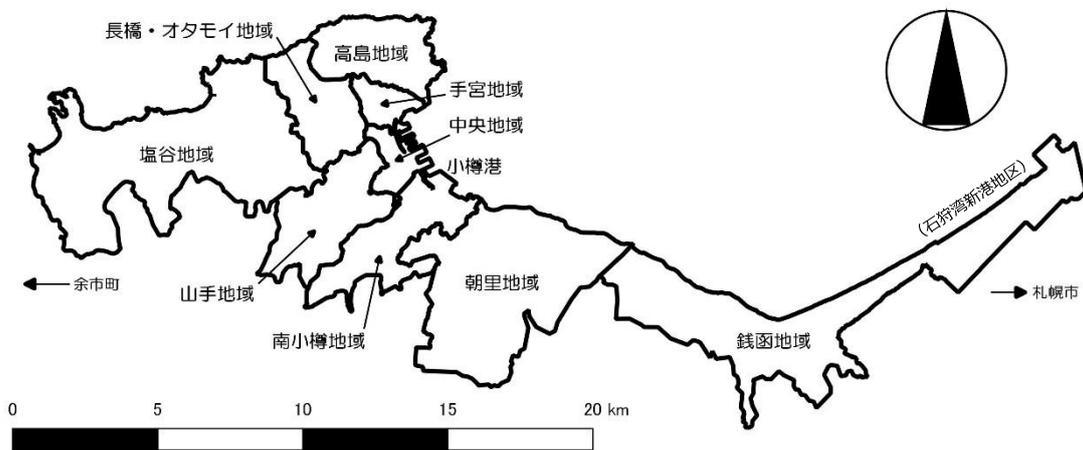


図 4-1 地域区分図

地域	主な町丁目
塩谷地域	蘭島、忍路、桃内、塩谷
長橋・オタモイ地域	オタモイ、幸、長橋、旭町
高島地域	祝津、赤岩、高島
手宮地域	手宮、末広町、梅ヶ枝町、錦町、清水町、豊川町、石山町、色内3丁目
中央地域	稲穂、花園、色内1・2丁目、港町、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1・2丁目
山手地域	富岡、緑、最上、松ヶ枝、入船3～5丁目、天狗山
南小樽地域	住ノ江、住吉町、有幌町、信香町、若松、奥沢、天神、真栄、潮見台、新富町、勝納町、若竹町、築港
朝里地域	桜、船浜町、朝里、新光、望洋台、新光町、朝里川温泉
銭函地域	張碓町、春香町、桂岡町、銭函、見晴町、星野町

## (2) 地域別方針策定の流れ

地域別方針の策定に当たり、市民意向を把握するため市民アンケートや地域別懇談会などを行い、地域についての生活環境の評価や地域の宝物、地域に望むものなどの意見を頂きました。これらの意見等を反映しながら地域別方針を策定しました。



地域別懇談会の開催の様子



## ② 地域別まちづくり方針

### (1) 塩谷地域

#### 1) 地域の概要

塩谷地域は、ニセコ積丹小樽海岸国定公園の一部となっている海岸線を持つ地域であり、昔、ニシン漁で栄えた塩谷漁港と忍路漁港があります。

地域内には JR 函館本線と国道 5 号が横断しており、市街地は主に塩谷駅と蘭島駅、国道 5 号沿いに形成されています。市街地背後の丘陵地では、当時のニシン漁に代わる新しい産業として始まった果樹や野菜を中心とした農業が行われています。

地域には、忍路環状列石や地鎮山巨石記念物などの貴重な遺跡・文化財が点在しているほか、塩谷、蘭島などの海岸は夏に多くの海水浴客でにぎわいます。

地域の人口動向は減少傾向にあり、平成 17～27 年の減少率は全市平均を上回っています。世帯当たりの人員は全市平均とほぼ同じです。

年齢階層別構成比では、老年人口比率が市内では最も高い地域です。



塩谷漁港から望む塩谷丸山



忍路湾の夕日



## 2) 市民意向のまとめ

### ①生活環境について

- 閑静で自然に恵まれているが、生活利便性については不満を感じています

騒音や振動が少なく静かだが、日常の買物ができるお店や、子どもの遊び場・身近な公園、公共交通機関などについて不満を感じています。

- 自然や緑が豊かで安心なまちを次代に継承していくことが大切と感じています

豊かな自然、農漁業、歴史や文化など多くの地域性があり、今後もこれらを次代に継承していく努力が大切と感じています。

### ②地域の宝物について

- 宝物は海、山の自然や歴史を挙げています

宝物として蘭島海水浴場、塩谷丸山、塩谷海岸・海水浴場、伊藤整文学碑・ゴロダの丘、忍路湾、田園的自然景観、青の洞窟などを挙げています。

### ③地域の現在のイメージについて

- 自然に恵まれた静かな地域と感じています

海や山の豊かな自然に囲まれ静かな中で、地域の発展を担ってきた産業である農業・漁業が息づいている地域と感じています。

### ④地域の将来のイメージについて

- 将来も、自然を大切にしていける地域を望んでいます

恵まれた自然を大切にしたい安心して快適に暮らせる地域を望んでいます。



蘭島の海岸から望むフゴッベ岬



伊藤整文学碑とゴロダの丘



### 3) 地域づくりの目標

#### ①地域づくりのテーマ

『豊かな自然や歴史とともにある暮らしやすさを実感できる地域』

海や山の恵みを享受できる豊かな自然や培われた歴史性を大切にしながら、それらと調和したライフスタイルや産業が息づく、暮らしやすい地域づくりをテーマとします。

#### ②地域づくりの目標

##### ●豊かな自然・歴史を感じることでできる住環境づくり●

地域を取り囲む豊かな自然・緑や、文化財などの保全を図りながら、これらと調和した安全・安心で暮らしやすい住環境づくりを目指します。

##### ●地域特性を生かした産業の活性化●

地域特性を大切に、今後も安心・安全な農・水産物を供給できる漁業や農業を支える地域を目指します。

##### ●地域の利便性の向上●

地域の利便性の向上を図るため、交通ネットワークの整備を促進し、地域間の連絡性や後志圏・札幌圏とのアクセスの充実を目指します。

##### ●魅力ある観光・レクリエーション交流エリアの形成●

地域の発展・歴史と密接に関係してきた自然環境や景観に配慮しながら、魅力的な交流エリアの形成を目指します。

4) 地域づくりの方針<sup>53</sup>

## ① 土地利用

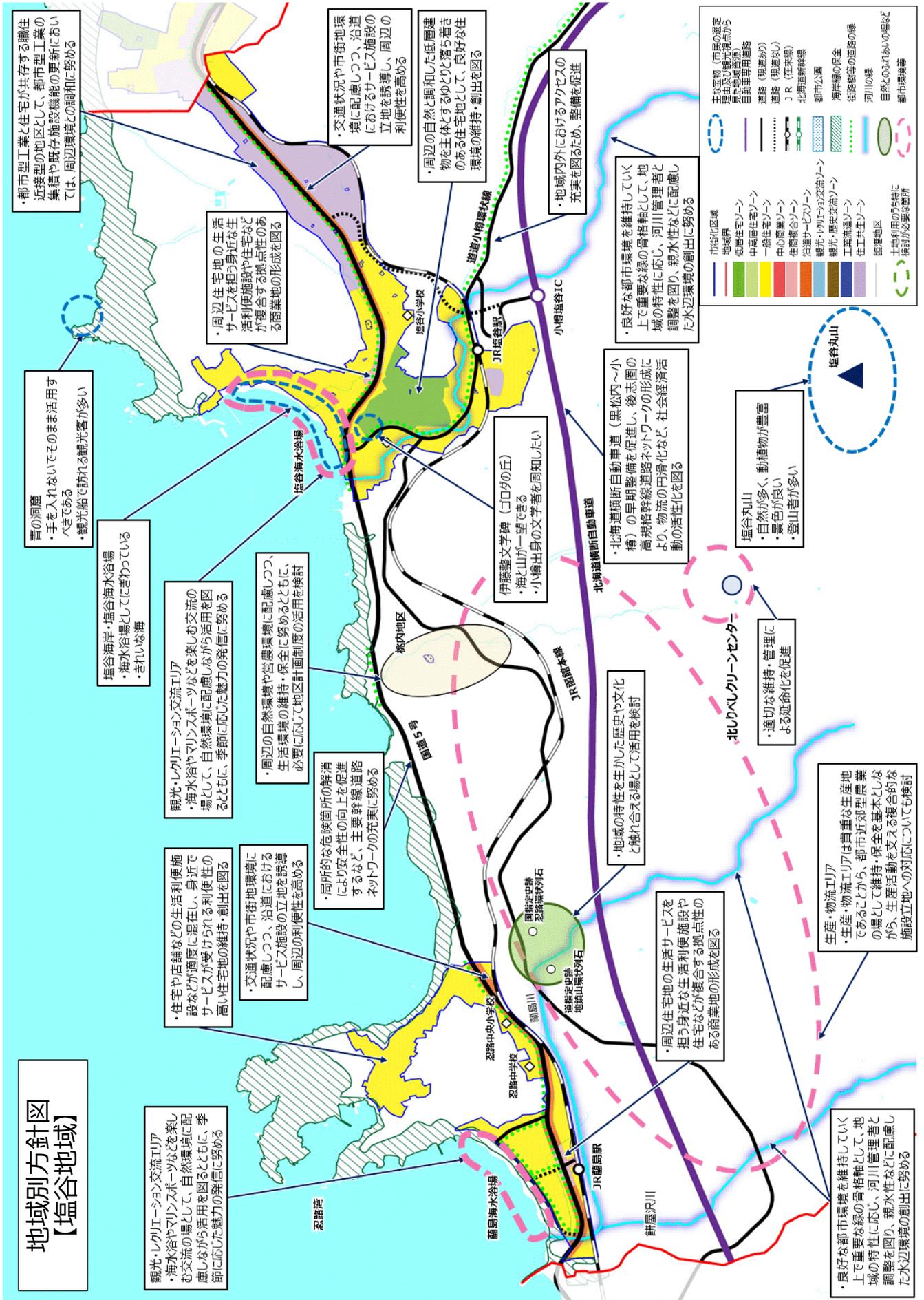
- 塩谷の低層住宅ゾーンは、周辺の自然と調和した低層建物を主体とするゆとりと落ち着きのある住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図ります。
- 蘭島、忍路、塩谷の一般住宅ゾーンは、住宅や店舗などの生活利便施設などが適度に混在し、身近でサービスが受けられる利便性の高い住宅地の維持・創出を図ります。
- 国道5号の沿道サービスゾーンは、交通状況や市街地環境に配慮しつつ、沿道におけるサービス施設の立地を誘導し、周辺の利便性を高めます。
- 蘭島、塩谷の住商複合ゾーンとこれに隣接する沿道サービスゾーンは、周辺住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設や住宅などが複合する拠点性のある商業地の形成を図ります。
- 塩谷の住工共生ゾーンは、都市型工業と住宅が共存する職住近接型の地区として、都市型工業の集積や既存施設機能の更新においては、周辺環境との調和に努めます。
- 蘭島から塩谷にかけての農地は、良好な生産の場や体験農園など市民が親しめる場として、その環境を維持・保全し、整備・開発は、必要最小限に抑え、周辺環境への十分な配慮に努めます。
- 桃内は、周辺の自然環境や営農環境に配慮しつつ、生活環境の維持・保全に努めるとともに、必要に応じて地区計画制度の活用を検討します。

## ② 都市環境等

- 蘭島、塩谷の観光・レクリエーション交流エリアは、海水浴やマリンスポーツなどを楽しむ交流の場として、自然環境に配慮しながら活用を図るとともに、季節に応じた魅力の発信に努めます。
- 蘭島・忍路などの生産・物流エリアは貴重な生産地であることから、都市近郊型農業の場として維持・保全を基本としながら、生産活動を支える複合的な施設立地への対応についても検討します。
- 北海道横断自動車道（黒松内～小樽）の早期整備を促進し、後志圏の高規格幹線道路ネットワークの形成により、物流の円滑化など、社会経済活動の活性化を図ります。
- 地域内の長期未整備の都市計画道路については、その必要性等を総合的に点検・検証し、計画の見直しを行い、必要な道路の整備について検討します。
- 国道5号は、局所的な危険箇所の解消により安全性の向上を促進するなど、主要幹線道路ネットワークの充実に努めます。
- 地域内外におけるアクセスの充実に図るため、塩谷・新光間を結ぶ道道小樽環状線の整備を促進します。
- 歴史的、学術的に貴重な忍路環状列石などの遺跡の周辺は、地域の特性を生かした歴史や文化と触れ合える場として活用を検討します。
- 餅屋沢川、蘭島川及び塩谷川は、良好な都市環境を維持していく上で重要な緑の骨格軸として、地域の特性に応じ、河川管理者と調整を図り、親水性などに配慮した水辺環境の創出に努めます。
- 道路や公園など既存都市基盤施設の適切な維持・管理に努めるなど、安全で快適な市民生活の確保を図ります。
- 桃内の北しりべし廃棄物処理広域連合が管理運営する施設（北しりべしクリーンセンター）については、適切な維持・管理による延命化を促進します。

<sup>53</sup> 地域づくりの方針について：①土地利用と②都市環境等については、第2章まちづくりの目標とまちの姿「まちの骨格」と第3章の部門別方針の土地利用、交通、緑の方針などを引用することを基本とし、市民意向にも配慮しつつ位置付けている。なお、②都市環境等では、まちの骨格など①と②双方に係わる事項については、重複を避けるため記載していない。

図4-2 地域別方針図（塩谷地域）



## (2) 長橋・オタモイ地域

### 1) 地域の概要

長橋・オタモイ地域は、丘陵地の斜面部分に広がる住宅地と、旧国道沿道に位置する商業系施設が混在した住宅地や工業系の土地利用が図られた地区で形成された市街地となっています。

居住に適した土地が少ない本市の中で、朝里地域などに並んで宅地化が進んだ地域であり、公営住宅の建設により一時期において人口の急増が見られました。

住宅地背後の海岸部では海食された崖が連続しているオタモイ海岸や、その勇壮な景色を眺められる小樽海岸自然探勝路があるほか、住宅地に隣接して緑豊かな自然散策が楽しめる長橋なえぼ公園があります。

地域の人口動向は減少傾向にあり、平成 17～27 年の減少率は、全市平均をやや上回っています。世帯当たりの人員は全市平均を上回っています。年齢階層別構成比は、全市平均とほぼ同じ割合となっています。



オタモイの海岸



長橋なえぼ公園



## 2) 市民意向のまとめ

### ①生活環境について

●**閑静で生活しやすいが、憩いの場については不満を感じています**

日常の買物は便利なほうで騒音、振動が少なく比較的住みやすいが、子どもの遊び場についてやや不満を感じています。

●**自然と親しむことのできる環境づくりなどを望んでいます**

長橋なえぼ公園内の自然環境を保全するとともに、更なる活用を図ることやオタモイ海岸など地域の観光資源の再整備などを望んでいます。

### ②地域の宝物について

●**宝物は、公園と海岸を挙げています**

宝物として、長橋なえぼ公園、オタモイ海岸、オタモイ唐門、小樽桜陽高等学校付近からの眺望などを挙げています。

### ③地域の現在のイメージについて

●**自然に恵まれた交流ある住宅地域と感じています**

自然に恵まれた静かな、地域内の交流が深い住宅地域と感じています。

### ④地域の将来のイメージについて

●**将来は、自然や緑が豊かな安心できる地域を望んでいます**

今後も自然や緑が豊かな、誰もが安心して住むことのできる地域を望んでいます。



森の自然館（長橋なえぼ公園）



オタモイ唐門



### 3) 地域づくりの目標

#### ①地域づくりのテーマ

#### 『身近な自然と調和した安心、快適に暮らせる地域』

緑に囲まれた環境のなかで地域住民による良好なコミュニティが生まれ、快適に生活できる地域づくりをテーマとします。

#### ②地域づくりの目標

##### ●ゆとりある良好な住環境づくり●

低層建物が広がる住宅地においては、周囲の豊かな自然と調和したゆとりある良好な住環境づくりを目指します。

##### ●地域コミュニティや安全・安心で快適な生活を支える都市基盤の形成●

子どもから高齢者まで、全ての人が安全で安心して利用できる公園や生活道路などの都市基盤の形成を目指します。

##### ●潤いある自然環境の保全●

海岸部の自然景観や生活に身近な緑地空間など自然環境を大切にする地域を目指します。



## 4) 地域づくりの方針

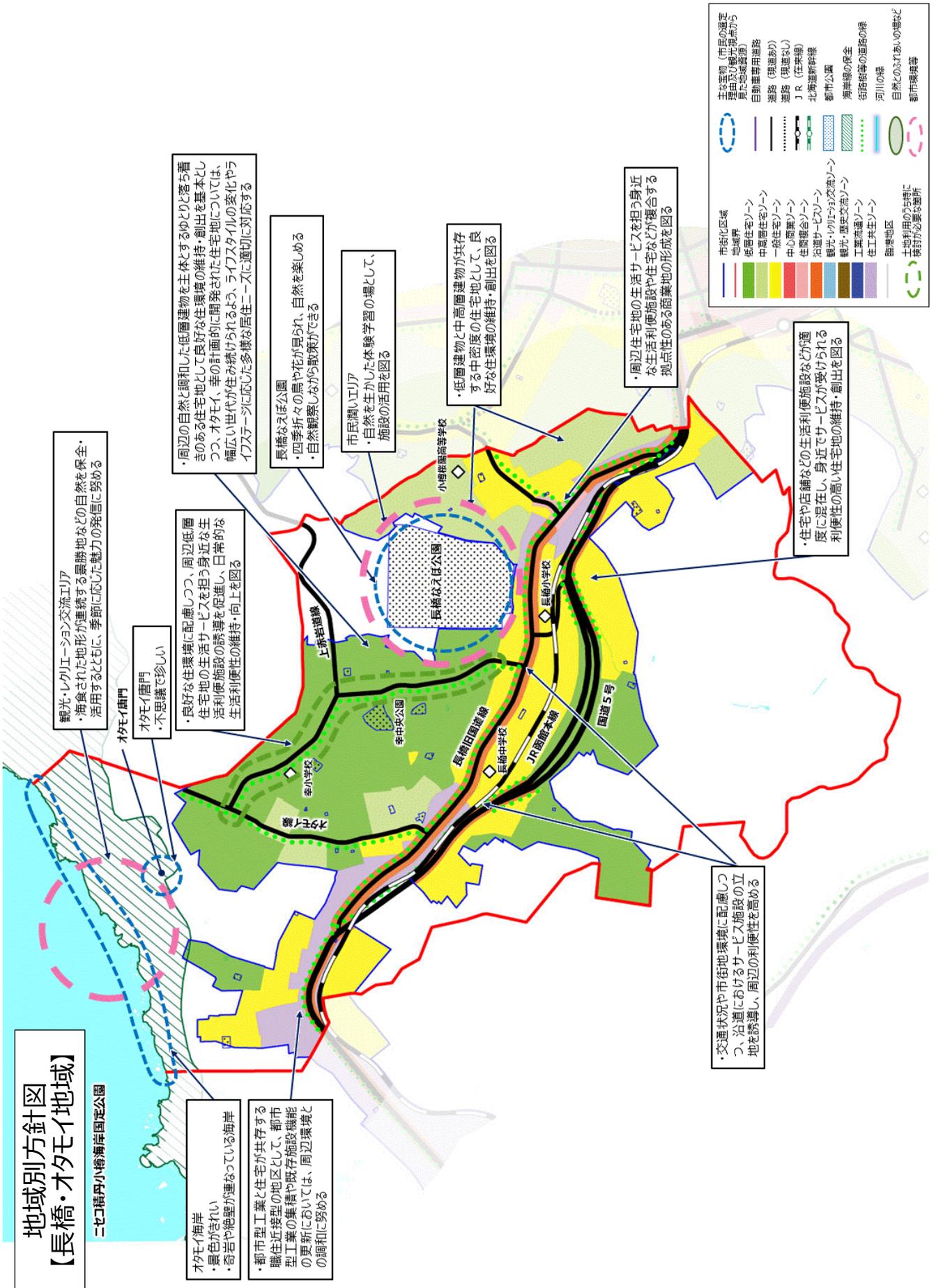
### ① 土地利用

- オタモイ、幸、長橋の低層住宅ゾーンは、周辺の自然と調和した低層建物を主体とするゆとりと落ち着いた着きのある住宅地として良好な住環境の維持・創出を基本としつつ、オタモイ、幸の計画的に開発された住宅地については、幅広い世代が住み続けられるよう、ライフスタイルの変化やライフステージに応じた多様な居住ニーズに適切に対応します。  
また、市道幸大通線などの沿線については、良好な住環境に配慮しつつ、周辺低層住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設の誘導を促進し、日常的な生活利便性の維持・向上を図ります。
- オタモイ、長橋の中高層住宅ゾーンは、低層建物と中高層建物が共存する中密度の住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図ります。
- オタモイ、長橋などの一般住宅ゾーンは、住宅や店舗などの生活利便施設などが適度に混在し、身近でサービスが受けられる利便性の高い住宅地の維持・創出を図ります。
- 長橋の住商複合ゾーンは、周辺住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設や住宅などが複合する拠点性のある商業地の形成を図ります。
- 国道5号などの沿道サービスゾーンは、交通状況や市街地環境に配慮しつつ、沿道におけるサービス施設の立地を誘導し、周辺の利便性を高めます。
- オタモイ、長橋の住工共生ゾーンは、都市型工業と住宅が共存する職住近接型の地区として、都市型工業の集積や既存施設機能の更新においては、周辺環境との調和に努めます。

### ② 都市環境等

- オタモイ周辺の観光・レクリエーション交流エリアは、海食された地形が連続する景勝地などの自然を保全・活用するとともに、季節に応じた魅力の発信に努めます。
- 長橋なえぼ公園の市民潤いエリアは、自然を生かした体験学習の場として、施設の活用を図ります。
- 地域内の長期未整備の都市計画道路については、その必要性等を総合的に点検・検証し、計画の見直しを行い、必要な道路の整備について検討します。
- 道路や公園など既存都市基盤施設の適切な維持・管理に努めるなど、安全で快適な市民生活の確保を図ります。

図 4-3 地域別方針図 (長橋・オタモイ地域)





### (3) 高島地域

#### 1) 地域の概要

高島地域は、大半が赤岩山の丘陵地であり、北側の海岸部は入江、断崖、奇岩など海食された崖が連続した勇壮な自然を見ることのできる景勝地になっており、ニセコ積丹小樽海岸国定公園にも指定されています。

地域内には昔、ニシン漁で栄えた祝津漁港や高島漁港があり、それら漁港を中心として市街地が形成されているほか、南に面する丘陵地には公営住宅や戸建住宅などが建ち並ぶ市街地が広がっています。

また、漁業の歴史を伝える鯨御殿や道内では歴史のある水族館が位置しており、夏期の観光シーズンには多くの人々が訪れます。

地域の人口動向は減少傾向にあり、平成 17～27 年の減少率は全市平均を上回っています。世帯当たりの人員は全市平均を上回っています。年齢階層別構成比では、年少人口、生産年齢人口比率ともに全市平均とほぼ同じ割合となっています。



おたる水族館



にしん漁場建築



## 2) 市民意向のまとめ

### ①生活環境について

- 交通環境や憩いの場に不満はあるが、全体的には住みやすいと感じています

公共交通や子どもの遊び場について不満はあるが、騒音や振動が少なく静かで全体的には住みやすいと感じています。

- 自然環境を保全し、観光資源として活用することなどを望んでいます

海岸などの自然環境を保全し、観察や体験学習の環境の充実により観光資源として活用することや既存観光施設へのアクセス充実などを望んでいます。

### ②地域の宝物について

- 宝物は、豊かな自然、歴史を挙げています

宝物として赤岩山、小樽海岸自然探勝路、赤岩海岸、祝津パノラマ展望台など自然や景勝地のほか、にしん番屋など歴史のある建造物、おたる水族館、高島公園などを挙げています。

### ③地域の現在のイメージについて

- 自然に恵まれた、漁業の盛んな伝統が息づいた地域と感じています

海や山の豊かな自然があり、地域の発展の源となった漁業が盛んな伝統が息づいた交流の深い地域と感じています。

### ④地域の将来のイメージについて

- 将来も、豊かな自然を大切にした漁業の盛んな地域を望んでいます

今後も豊かな自然を大切に、人にやさしく安心できる、漁業が発展する地域を望んでいます。



祝津パノラマ展望台



赤岩の海岸



### 3) 地域づくりの目標

#### ① 地域づくりのテーマ

『海の資源を大切にしたい、自然の魅力を感じることもできる地域』

歴史と文化を育んできた海の資源を大切に、地域に広がる豊かな自然を実感できる地域づくりをテーマとします。

#### ② 地域づくりの目標

##### ● 魅力ある恵まれた自然環境の保全と活用 ●

地域の発展や歴史と密接に関係してきた自然環境と景観を大切にしつつ、これらの資源を活用した地域づくりを目指します。

##### ● 豊かな自然環境と調和した住環境づくり ●

住宅地背後の緑地空間と調和した住環境づくりを目指します。

##### ● 漁業生産活動を支える機能の向上 ●

効率的な漁業生産などの活動を支える地域を目指します。

##### ● 魅力ある観光・レクリエーション交流エリアの形成 ●

周辺の自然環境に配慮しながら特性を生かした観光・海洋レクリエーションと連動する魅力ある交流空間の形成を目指します。



## 4) 地域づくりの方針

### ① 土地利用

- 赤岩の低層住宅ゾーンは、周辺の自然と調和した低層建物を主体とするゆとりと落ち着きのある住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図ります。
- 祝津、高島の中高層住宅ゾーンは、低層建物と中高層建物が共存する中密度の住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図ります。
- 祝津、高島、赤岩の一般住宅ゾーンは、住宅や店舗などの生活利便施設などが適度に混在し、身近でサービスが受けられる利便性の高い住宅地の維持・創出を図ります。
- 高島の住商複合ゾーンは、周辺住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設や住宅などが複合する拠点性のある商業地の形成を図ります。
- 祝津、高島の住工共生ゾーンは、都市型工業と住宅が共存する職住近接型の地区として、都市型工業の集積や既存施設機能の更新においては、周辺環境との調和に努めます。
- 高島の工業流通ゾーンは、港湾機能を生かし、効率的な工業・流通活動を支える土地利用を図ります。

### ② 都市環境等

- ニセコ積丹小樽海岸国定公園に指定されている海岸線や市街地背後に広がる緑の保全に努めます。
- 祝津の観光・レクリエーション交流エリアは、水族館、ヨットハーバー、鯨御殿や自然景観などを生かした活用を図るとともに、季節に応じた魅力の発信に努めます。
- 高島漁港区は、水産物の供給及び漁港の拠点として、機能の向上に努めます。
- 地域内の長期未整備の都市計画道路については、その必要性等を総合的に点検・検証し、計画の見直しを行い、必要な道路の整備について検討します。
- 道路や公園など既存都市基盤施設の適切な維持・管理に努めるなど、安全で快適な市民生活の確保を図ります。





## (4) 手宮地域

### 1) 地域の概要

手宮地域は、明治初期の鉄道の開通に伴い発展した歴史の長い市街地で、早くから道路などが整備され、商店や銀行、事務所などが建築されました。今も一部にその当時の面影が残る地域です。

地域には丘陵部の住宅地と、これに続く小規模店舗などと混在した住宅地が広がり、それらに隣接する臨海部は工業利用が主体となっています。

高台には小樽港全体を見渡せる手宮公園が位置し、市民の憩いの場となっています。また、鉄道を中心とした北海道の交通について語る小樽市総合博物館が位置するほか、国指定史跡である手宮洞窟や国指定重要文化財である旧日本郵船(株)小樽支店など歴史を伝える施設があります。

地域の人口動向は減少傾向にあり、平成 17～27 年の減少率は、本市の中で最も高くなっています。世帯当たりの人員は全市平均に対しやや下回っています。年齢階層別構成比では、老年人口比率が全市平均をやや上回っています。



手宮公園



運河公園と旧日本郵船(株)小樽支店



## 2) 市民意向のまとめ

### ①生活環境について

●生活利便性が良く、全体的には住みやすいが、災害時の安全性に不満を感じています

日常の買物や公共交通機関の利便性がよく全体的に住みやすいが、災害時の安全性などにやや不満を感じています。

●地域の文化の継承や、歴史的資源を生かしたにぎわいの創出を望んでいます

手宮公園、旧国鉄手宮線、旧トランスポーター（北炭ローダー基礎）、古代文字などに関する情報発信やこれらの活用を図り、イベントの開催など観光客の誘導や回遊性の向上によるにぎわいの創出を望んでいます。

### ②地域の宝物について

●宝物は、公園や歴史的資源を挙げています

地域の宝物として手宮公園、運河公園、中野植物園、小樽市総合博物館、旧国鉄手宮線、旧トランスポーター（北炭ローダー基礎）、旧日本郵船(株)小樽支店、小樽稲荷神社などを挙げています。

### ③地域の現在のイメージについて

●自然に恵まれ静かで昔からの伝統や歴史が残る地域と感じています

自然に恵まれ静かで昔からの伝統や歴史が残る地域と感じています。

### ④地域の将来のイメージについて

●将来は、文化・歴史などが感じられ、やすらぎのある地域を望んでいます

将来は、地域の文化・歴史などが感じられ、やすらぎのある地域を望んでいます。



小樽市総合博物館（アイアンホース号）



旧国鉄手宮線の散策路



### 3) 地域づくりの目標

#### ①地域づくりのテーマ

『特色ある歴史やコミュニティを大切にし、活気ある生活が息づく地域』

地域の特色ある歴史や昔ながらのコミュニティを大切にし、人々の温かなつながりが生み出す活気あふれる地域づくりをテーマとします。

#### ②地域づくりの目標

##### ● 安心で快適な生活を支える住、商、工の良好な機能配置 ●

住宅地と近接する商業地や、臨海部での工業地が機能的に配置され、利便性と安全性が確保された地域を目指します。

##### ● 地域資源を生かしたまちの魅力の向上 ●

日本遺産に指定された文化財や歴史的建造物などの地域資源を生かし、潤いやにぎわいの感じられる魅力ある地域を目指します。

##### ● 産業活動の利便増進と周辺環境との調和 ●

臨海部に位置する工業地は、隣接する地区の環境に配慮しながら、産業活動の利便増進を図ります。



## 4) 地域づくりの方針

### ① 土地利用

- 清水町、末広町、手宮などの中高層住宅ゾーンは、低層建物と中高層建物が共存する中密度の住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図ります。
- 梅ヶ枝町、錦町、石山町などの一般住宅ゾーンは、住宅や店舗などの生活利便施設などが適度に混在し、身近でサービスが受けられる利便性の高い住宅地の維持・創出を図ります。
- 地域中央部に位置する住商複合ゾーンは、周辺住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設や住宅などが複合する拠点性のある商業地の形成を図るとともに、建て替えなど施設の更新時には、防災等に配慮した地区環境の改善を誘導します。
- 手宮、色内の観光・歴史交流ゾーンは、更なるにぎわいの創出のため、歴史的建造物や文化財などと商業機能が調和した個性的で魅力ある空間の形成を図り、観光客の回遊性を高めます。
- 小樽港臨港地区の工業流通ゾーンは、港湾機能を生かし、効率的な工業・流通活動を支える土地利用を基本としつつ、隣接する交流空間と連携した複合的な土地利用を検討します。

### ② 都市環境等

- 地域内の長期未整備の都市計画道路については、その必要性等を総合的に点検・検証し、計画の見直しを行い、必要な道路の整備について検討します。
- 手宮公園は、市民の身近なスポーツやレクリエーション、自然を生かした体験学習の場として、施設の充実を図り、潤いのある空間の維持に努めます。
- 道路や公園など既存都市基盤施設の適切な維持・管理に努めるなど、安全で快適な市民生活の確保を図ります。
- 旧国鉄手宮線など観光拠点間を結ぶ歩行者空間は、市民や観光客が本市特有の歴史的街並みを楽しみながら回遊できる散策ネットワークとして、適切な維持・管理に努めるとともに、その活用を図ります。





## (5) 中央地域

### 1) 地域の概要

本市の経済活動の中心地として、JR 小樽駅前や国道5号の沿道、小樽運河を中心に商業・観光施設が集積しており、商業系の土地利用が多くを占める地域となっています。

地域の臨海部には本市の発展の原動力となった小樽港があり、現在も生産・物流の拠点となっています。

また、地域内にはまちのシンボリックな憩い空間となっている小樽公園があり、総合体育館や野球場などの公共施設をはじめ、市街地を見渡せる見晴台もあり、広く市民に利用されています。

近年は、小樽運河やその周辺の歴史的建造物などを核として、観光を主体とした商業施設が集積し、国内外から多くの観光客が訪れています。

地域の人口動向は減少傾向にありますが、減少率は全地域の中で2番目に低くなっています。1世帯当たりの人員は9地域の中で最も少なくなっています。

年齢階層別構成比では、老年人口比率は、全市平均とほぼ同じ割合で、年少人口比率は塩谷地域と並び最も低くなっています。



小樽運河（小樽雪あかりの路）



日本銀行旧小樽支店

## 2) 市民意向のまとめ

### ①生活環境について

- 憩いの場に不満はあるが、生活利便性については満足と感じています

子どもの遊び場や身近な公園などはやや不満ですが、買物や公共交通機関の利便性については満足に感じています。

- 既存施設の有効活用による良好な住環境の確保などを望んでいます

公共施設や空き家・空き地の有効活用を図るなど良好な住環境の整備を望んでいます。

### ②地域の宝物について

- 宝物は、小樽公園と歴史的な建物などを挙げています

宝物として小樽公園、小樽運河、日本銀行旧小樽支店、水天宮、旧国鉄手宮線、龍宮神社、堺町本通、メルヘン交差点、市役所、図書館、JR 小樽駅と中央通などを挙げています。

### ③地域の現在のイメージについて

- 中心商業地であり、多くの観光客が訪れます

商業施設などが多く、にぎわいがあり、多くの観光客が訪れる交流のある地域と感じています。

### ④地域の将来のイメージについて

- 歴史・文化と調和したにぎわいのある地域を望んでいます

将来は、歴史や文化などを感じさせる、商業が盛んな、にぎわいのある利便性の高い地域を望んでいます。



JR 小樽駅



水天宮



### 3) 地域づくりの目標

#### ①地域づくりのテーマ

『人が集い、にぎわいあふれる、魅力的で歴史と共存する地域』

本市経済の中心拠点として利便性が高く、訪れる人がまちの歴史と文化を満喫できる魅力的な地域づくりをテーマとします。

#### ②地域づくりの目標

##### ●活気ある中心市街地の形成●

多様な目的に対応する経済活動の中心地として、都市機能が集積している地域特性を生かした居住や再開発を促進するなど、活気ある中心市街地の形成を目指します。

##### ●にぎわいある交流空間の形成●

歴史的建造物や文化財などと商業機能が調和したにぎわいある交流空間の形成を目指します。

##### ●小樽らしい景観の形成●

景観拠点の保全や良好な街並み景観の創出などにより小樽らしい景観の形成を目指します。

## 4) 地域づくりの方針

### ① 土地利用

- 花園や稲穂などの一般住宅ゾーンは、住宅や店舗などの生活利便施設が適度に混在し、身近でサービスが受けられる利便性の高い住宅地の維持・創出を図ります。
- 中心商業ゾーンは、本市特有の歴史・文化・街並み景観など地区の特性を生かした商業の振興や、多様な都市機能の誘導に努め、更なるにぎわいの創出を図るとともに、利便性が高い特性を生かし、周辺地域とのバランスに配慮しつつ、まちなか居住を促進します。特に、JR 小樽駅周辺の中心商業ゾーンは、市街地再開発などの面的整備を促進し、土地の高度利用や都市機能の更新を図ります。
- 中心商業ゾーン周辺の住商複合ゾーンは、身近な生活利便施設や住宅などが複合する拠点性のある商業地の形成を図るとともに、利便性が高い特性を生かし、周辺地域とのバランスに配慮しつつ、区内やその周辺への居住を促進します。
- 小樽運河周辺、堺町、東雲町などの観光・歴史交流ゾーンは、更なるにぎわいの創出のため、歴史的建造物や文化財などと商業機能が調和した個性的で魅力ある空間の形成を図り、観光客の回遊性を高めます。
- 小樽港臨港地区の観光・レクリエーション交流ゾーンは、国際旅客船ふ頭を核とし、観光・商業施設と一体となった、にぎわいある交流空間の創出を目指します。
- 小樽港臨港地区の工業流通ゾーンは、港湾機能を生かし、効率的な工業・流通活動を支える土地利用を基本としつつ、隣接する交流空間と連携した複合的な土地利用を検討します。

### ② 都市環境等

- 国道5号などの無電柱化などを促進し、安全で快適な歩行者空間の創出や良好な景観の形成に努めます。
- 地域内の長期未整備の都市計画道路については、その必要性等を総合的に点検・検証し、計画の見直しを行い、必要な道路の整備について検討します。
- JR 小樽駅周辺などにおける交通の円滑化と利便性の向上を図るため、必要に応じて駐車場整備計画を策定するなど、計画的な駐車場の配置に努めます。
- 小樽公園は、市民の身近なスポーツやレクリエーションなどの場として施設の充実を図り、潤いのある空間の維持に努めます。
- 緑の少ない中心部において都市緑地法に基づく緑化重点地区の指定を検討します。
- 道路や公園など既存都市基盤施設の適切な維持・管理に努めるなど、安全で快適な市民生活の確保を図ります。
- JR 小樽駅の駅前広場は、交通結節点として求められる機能・施設について検討し整備を図ります。
- 旧国鉄手宮線など観光拠点間を結ぶ歩行者空間は、市民や観光客が本市特有の歴史的街並みを楽しみながら回遊できる散策ネットワークとして、適切な維持・管理に努めるとともに、その活用を図ります。
- 小樽港臨港地区の主要な道路である臨港道路小樽港縦貫線の整備を推進し、物流機能の強化を図ります。





## (6) 山手地域

### 1) 地域の概要

明治から昭和初期の経済、物流活動を支えた人々や官公庁関係者が多く住む住宅地として発展した地域で、今も閑静な雰囲気が残る歴史ある住宅市街地です。

隣接する中央地域とは異なり、幹線道路沿いの商業地を除いて住宅地が大半を占める地域となっています。

また、住宅地の周囲には緑地に囲まれるように大学や高校などの教育施設が点在し、さらにその背後には道内最初のリフトが敷設された天狗山や市民の憩いの場となっている旭展望台があり、素晴らしい眺望を楽しむことができます。

地域の人口動向は減少傾向にあり、平成 17～27 年の減少率は全市平均を下回っています。世帯当たりの人員は全市平均に対し、下回っています。

年齢階層別構成比では、老年人口比率は全市平均をやや下回っています。



旭展望台からの風景



天狗山（スキー場）



## 2) 市民意向のまとめ

### ①生活環境について

●憩いの場に不満はあるが、生活利便性が良く、比較的住みやすいと感じています

子どもの遊び場などにやや不満はあるが、中心市街地と隣接しており、買物が便利で公共交通機関も充実しているなど、比較的住みやすいと感じています。

●地域特性を生かした交流機能の充実などを望んでいます

天狗山から旭展望台へ通ずる道路の再整備や自然環境を生かした散策路の整備など機能の充実により、地域内外の人に訪れてもらいたいと望んでいます。

### ②地域の宝物について

●宝物は、眺望のよいところなどを挙げています

宝物として天狗山、旭展望台、船見坂、入船公園、からまつ公園などを挙げています。

### ③地域の現在のイメージについて

●自然に恵まれた落ち着いた地域と感じています

地域の周辺は天狗山など自然に囲まれており、公園や緑も多く静かな住宅地と感じています。

### ④地域の将来のイメージについて

●将来は、自然を大切にしながら安心して暮らせる地域を望んでいます

豊かな自然を守りながら、利便性の高い、安心して暮らせる人にやさしい地域を望んでいます。



地獄坂



旭展望台への道路



### 3) 地域づくりの目標

#### ①地域づくりのテーマ

『**落ち着きある暮らしと豊かな自然を大切にした安心・快適な地域**』

落ち着きある住環境と地域を囲む豊かな自然を大切にした安心・快適な地域づくりをテーマとします。

#### ②地域づくりの目標

##### ● 落ち着きある良好な住環境づくり ●

中央地域と隣接した利便性を生かしながらも、静かで落ち着いた雰囲気を保ち続ける住環境を目指します。

##### ● 自然に囲まれた憩い空間の形成 ●

地域周辺の緑と一体となった山麓の交流エリアなどは、眺望を生かし、自然と触れ合える憩い空間の形成を目指します。

##### ● 交通アクセスの充実による利便性の向上 ●

地域間を結ぶ道路整備の促進により、アクセスの充実を図り、利便性の向上を目指します。



## 4) 地域づくりの方針

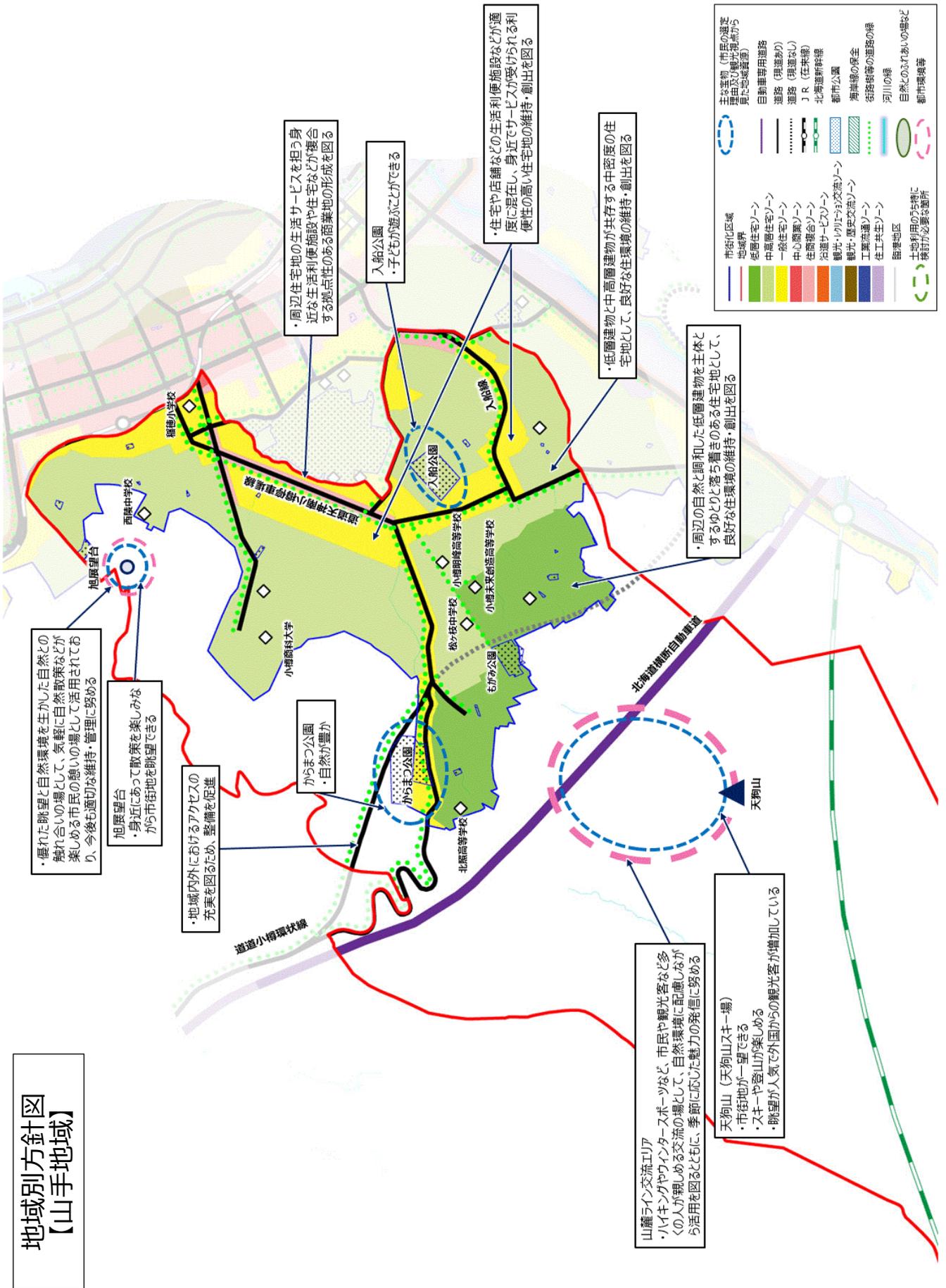
### ① 土地利用

- 松ヶ枝、最上の山裾に広がる低層住宅ゾーンは、周辺の自然と調和した低層建物を主体とするゆとりと落ち着きのある住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図ります。
- 緑、入船、富岡などの中高層住宅ゾーンは、低層建物と中高層建物が共存する中密度の住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図ります。
- 緑、入船、富岡などの幹線道路背後に位置する一般住宅ゾーンは、住宅や店舗などの生活利便施設などが適度に混在し、身近でサービスが受けられる利便性の高い住宅地の維持・創出を図ります。
- 道道天神南小樽停車場線沿いや市道高商通線沿いの住商複合ゾーンは、周辺住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設や住宅などが複合する拠点性のある商業地の形成を図ります。

### ② 都市環境等

- 天狗山及びその周辺の山麓ライン交流エリアは、ハイキングやウィンタースポーツなど、市民や観光客など多くの人々が親しめる交流の場として、自然環境に配慮しながら活用を図るとともに、季節に応じた魅力の発信に努めます。
- 地域内外におけるアクセスの充実を図るため、塩谷・新光間を結ぶ道道小樽環状線の整備を促進します。
- 地域内の長期末整備の都市計画道路については、その必要性等を総合的に点検・検証し、計画の見直しを行い、必要な道路の整備について検討します。
- 旭展望台周辺は、優れた眺望と自然環境を生かした自然との触れ合いの場として、気軽に自然散策などが楽しめる市民の憩いの場として活用されており、今後も適切な維持・管理に努めます。
- 道路や公園など既存都市基盤施設の適切な維持・管理に努めるなど、安全で快適な市民生活の確保を図ります。

図 4-7 地域別方針図 (山手地域)





## (7) 南小樽地域

### 1) 地域の概要

勝納川河口周辺を中心として早くから市街地が形成され、勝納川に沿って次第に市街地が拡大してきた地域です。

現在、地域内には臨海部と勝納川沿いで工業的な土地利用がされており、山側の丘陵地部分には住宅地が広がっています。

また、再開発が行われた JR 小樽築港駅周辺や、歴史と由緒ある神社や観光を主体とした商業施設が隣接している JR 南小樽駅周辺には、多くの市民や観光客が訪れています。

地域の人口動向については減少傾向にありますが、全市平均と同率となっています。世帯当たりの人員は全市平均をやや下回っています。年齢階層別構成比では、ほぼ全市平均並みですが、老年人口比率が全市平均をやや上回っています。



奥沢水源地



勝納川



## 2) 市民意向のまとめ

### ①生活環境について

- 憩いの場に不満はあるが、生活利便性が良く、比較的住みやすいと感じています

子どもの遊び場などにはやや不満はありますが、買物に便利で、バスなどの公共交通機関も充実しているなど利便性が高く、比較的住みやすいと感じています。

- 市内各所と北海道新幹線新小樽（仮称）駅との円滑なアクセスの確保を望んでいます

新たなバス路線など市内各所と結ぶ交通網の整備を望んでいます。

- 奥沢水源地の豊かな自然を生かして水と親しめる空間を望んでいます

水生生物の生息環境を守りつつ、新たな潤い空間として市民が親しめるような水源地の休憩施設や勝納川の散策路の整備などを望んでいます。

### ②地域の宝物について

- 宝物は、公園や水辺空間を挙げています

宝物として平磯公園、奥沢水源地、勝納川、築港の複合商業施設、南樽市場、住吉神社、和光荘、旧魁陽亭、かつない・築港臨海公園、栗山公園、宗圓寺、JR 南小樽駅などを挙げています。

### ③地域の現在のイメージについて

- 自然に恵まれ交流が深く、観光客の多い地域と感じています

自然に恵まれ、地域内の交流が深く、神社や歴史的建造物などが残り観光客が多い地域と感じています。

### ④地域の将来のイメージについて

- 将来も、周囲の自然を大切にしながら利便性の高い地域を望んでいます

将来は自然が豊かで、利便性の高い安心できる地域を望んでいます。



かつない臨海公園



南樽市場



### 3) 地域づくりの目標

#### ①地域づくりのテーマ

『産業活動を支えるとともに自然を大切にした安全・安心で快適な地域』

産業活動を支えるとともに、恵まれた自然を大切にした安全・安心で利便性の高い快適な住環境が保たれる地域づくりをテーマとします。

#### ②地域づくりの目標

##### ●水や緑を身近に感じられる地域づくり●

水や緑を身近に感じられる親水空間の維持・創出など、潤いのある地域の形成を目指します。

##### ●産業活動を支える地域づくり●

臨海部における機能の集積を生かすなど産業活動を支える地域を目指します。

##### ●交流・生活サービス機能が充実した住環境の形成●

交流エリアなどにおける生活サービスを含めた都市機能や交流機能の維持・充実など、安全・安心で快適な住環境の形成を目指します。

##### ●交通利便性の高い新たな玄関口の創出●

北海道新幹線新小樽（仮称）駅と中心市街地や観光拠点などの交通アクセスを含めた利便性の高い交通ネットワークを形成し、本市や周辺地域へ多くの人を呼び込む新たな玄関口の創出を目指します。

## 4) 地域づくりの方針

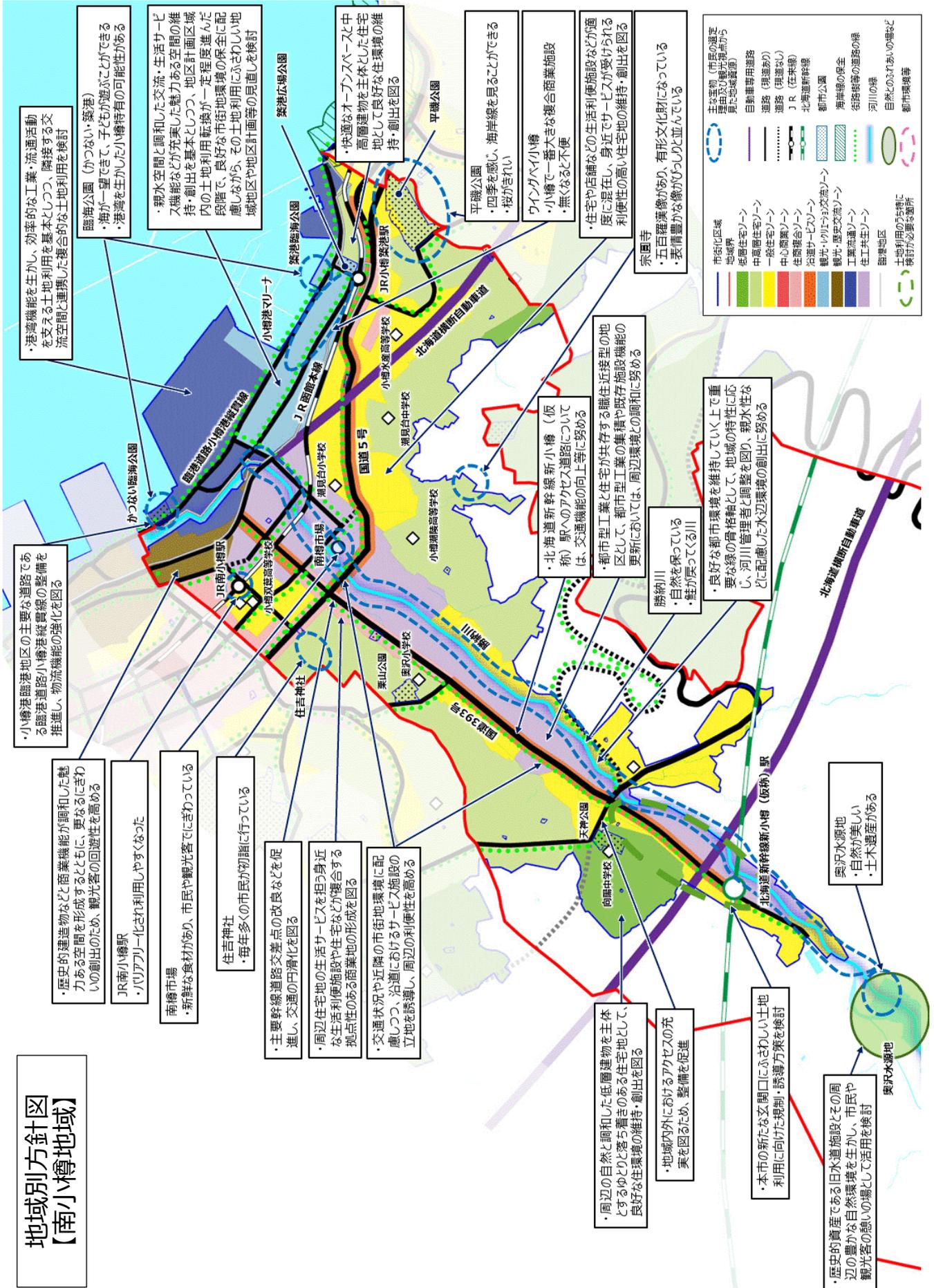
### ① 土地利用

- 天神などの低層住宅ゾーンは、周辺の自然と調和した低層建物を主体とするゆとりと落ち着きのある住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図ります。
- JR 小樽築港駅周辺地区の中高層住宅ゾーンは、快適なオープンスペースと中高層建物を主体とした住宅地として良好な住環境の維持・創出を図ります。
- 奥沢、若竹町、天神などの幹線道路背後に位置する一般住宅ゾーンは、住宅や店舗などの生活利便施設などが適度に混在し、身近でサービスが受けられる利便性の高い住宅地の維持・創出を図ります。
- 住ノ江、奥沢、若竹町などの住商複合ゾーンは、周辺住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設や住宅などが複合する拠点性のある商業地の形成を図ります。
- 国道5号や国道393号などの沿道サービスゾーンは、交通状況や近隣の市街地環境に配慮しつつ、沿道におけるサービス施設の立地を誘導し、周辺の利便性を高めます。
- JR 小樽築港駅周辺地区の観光・レクリエーション交流ゾーンは、親水空間と調和した交流・生活サービス機能などが充実した魅力ある空間の維持・創出を基本としつつ、地区計画区域内の土地利用転換が一定程度進んだ段階で、良好な市街地環境の保全に配慮しながら、その土地利用にふさわしい地域地区や地区計画等の見直しを検討します。
- 住吉などの観光・歴史交流ゾーンは、歴史的建造物などと商業機能が調和した魅力ある空間を形成するとともに、更なるにぎわいの創出のため、観光客の回遊性を高めます。
- 小樽港臨港地区の工業流通ゾーンは、港湾機能を生かし、効率的な工業・流通活動を支える土地利用を基本としつつ、隣接する交流空間と連携した複合的な土地利用を検討します。
- 奥沢、天神、真栄などの住工共生ゾーンは、都市型工業と住宅が共存する職住近接型の地区として、都市型工業の集積や既存施設機能の更新においては、周辺環境との調和に努めます。
- 北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺地区は、本市の新たな玄関口にふさわしい土地利用に向けた規制・誘導方策を検討します。

### ② 都市環境等

- 地域内外におけるアクセスの充実を図るため、塩谷・新光間を結ぶ道道小樽環状線の整備を促進します。
- 北海道新幹線新小樽（仮称）駅へのアクセス道路については、国道393号など必要に応じ、交通機能の向上等に努めます。
- 小樽港臨港地区の主要な道路である臨港道路小樽港縦貫線の整備を推進し、物流機能の強化を図ります。
- 主要幹線道路交差点の改良などを促進し、交通の円滑化を図ります。
- 地域内の長期末整備の都市計画道路については、その必要性等を総合的に点検・検証し、計画の見直しを行い、必要な道路の整備について検討します。
- 奥沢水源地周辺は、歴史的資産である旧水道施設とその周辺の豊かな自然環境を生かし、市民や観光客の憩いの場として活用を検討します。
- 勝納川は、良好な都市環境を維持していく上で重要な緑の骨格軸として、地域の特性に応じ、河川管理者と調整を図り、親水性などに配慮した水辺環境の創出に努めます。
- 道路や公園など既存都市基盤施設の適切な維持・管理に努めるなど、安全で快適な市民生活の確保を図ります。

図 4-8 地域別方針図 (南小樽地域)





## (8) 朝里地域

### 1) 地域の概要

住宅市街地として都市基盤整備が進められたところが多く、現在も良好な住環境を確保されています。

そのため、全体の土地利用としては住居系が多く、その他に幹線道路沿いで商業系や工業系の土地利用が図られています。

海岸には、2つの海水浴場があり、古くから市民に親しまれています。また、山間部には朝里川温泉があり、都心に近接している温泉とスキー場のある保養・レクリエーションの場として貴重な役割を担っており、年間を通じて市内外から多くの人々が訪れています。

地域の人口動向は、減少傾向にあり、平成 17～27 年の減少率は全市平均で最も低くなっています。世帯当たりの人員は全市で最も多くなっています。

年齢階層別構成比では、全市平均よりも老年人口比率が低く、年少人口比率が最も高くなっています。



東小樽海水浴場



朝里ダム周辺



## 2) 市民意向のまとめ

### ①生活環境について

- 生活利便性が良く、比較的住みやすいと感じています

日常の買物や公共交通機関が便利で、騒音・振動などが少なく比較的住みやすいと感じています。

- 水辺空間を生かした環境整備などを望んでいます

朝里川遊歩道の延伸や朝里川公園の更なる活用のほか毛無山展望台の整備などを望んでいます。

### ②地域の宝物について

- 宝物は親水空間、公園を多く挙げています

宝物として朝里ダム周辺地、毛無山、朝里川温泉、東小樽・朝里海岸、朝里川公園、桜丘の上公園、望洋東公園（桜チャシ）、熊碓神社、道道1号線などを挙げています。

### ③地域の現在のイメージについて

- 自然に恵まれた静かな住宅地域と感じています

朝里川、朝里ダム周辺地、東小樽海岸などの自然があり、閑静な住宅地域と感じています。

### ④地域の将来のイメージについて

- 将来も、周囲の自然と調和した落ち着いた地域を望んでいます

今後も豊かな自然を大切にしたい、利便性が高く、安心・安らぎのある地域を望んでいます。



朝里川公園



毛無山展望所



### 3) 地域づくりの目標

#### ①地域づくりのテーマ

#### 『地域資源を生かした魅力の創出と暮らしやすい地域』

緑豊かな山麓や潤いある河川のほか、遺跡や多くの人たちが訪れる温泉など多彩な地域資源や快適に暮らせる住環境を大切にしたい地域づくりをテーマとします。

#### ②地域づくりの目標

##### ● 地域資源を生かした潤いを与える空間の創出 ●

自然や緑地・親水空間などを大切にしながら、地域に潤いを与える空間づくりを目指します。

##### ● 温泉郷を核とする魅力ある空間の創出 ●

温泉郷や山麓の交流拠点は、交流機能の向上に努めるとともに多彩な地域資源を生かした魅力ある空間の創出を目指します。

##### ● 暮らしやすい良好な住環境づくり ●

住民の生活を支える商業施設などの都市機能が充実した暮らしやすい良好な住環境づくりを目指します。



## 4) 地域づくりの方針

### ① 土地利用

- 桜、望洋台、新光などの低層住宅ゾーンは、周辺の自然と調和した低層建物を主体とするゆとりと落ち着いた住宅地として、良好な住環境の維持・創出を基本としつつ、桜、望洋台の計画的に開発された住宅地については、幅広い世代が住み続けられるよう、ライフスタイルの変化やライフステージに応じた多様な居住ニーズに適切に対応します。  
また、市道望洋線などの沿線については、良好な住環境に配慮しつつ、周辺低層住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設の誘導を促進し、日常的な生活利便性の維持・向上を図ります。
- 桜、新光などの中高層住宅ゾーンは、低層建物と中高層建物が共存する中密度の住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図ります。
- 新光、桜、朝里川温泉地区などの幹線道路背後に位置する一般住宅ゾーンは、住宅や店舗などの生活利便施設などが適度に混在し、身近でサービスが受けられる利便性の高い住宅地の維持・創出を図ります。
- 朝里、新光、桜の住商複合ゾーンは、周辺住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設や住宅などが複合する拠点性のある商業地の形成を図ります。
- 朝里川温泉地区の観光・レクリエーション交流ゾーンは、自然と調和した温泉やスポーツ施設など、市民や観光客が楽しみ、健康を増進できる交流拠点として、必要に応じて土地利用の見直しを行うなど、機能の向上に努めます。
- 国道5号や道道小樽定山溪線の沿道サービスゾーンは、交通状況や近隣の市街地環境に配慮しつつ、沿道におけるサービス施設の立地を誘導し、周辺の利便性を高めます。
- 新光、桜などの住工共生ゾーンは、都市型工業と住宅が共存する職住近接型の地区として、都市型工業の集積や既存施設機能の更新においては、周辺環境との調和に努めます。

### ② 都市環境等

- 毛無山周辺地区の山麓ライン交流エリアは、森林などの自然環境に配慮しながら市民や観光客が親しめる交流の場として活用を図るとともに、季節に応じた魅力の発信に努めます。
- 北海道横断自動車道（黒松内～小樽）の早期整備を促進し、後志圏の高規格幹線道路ネットワークの形成により、物流の円滑化など社会経済活動の活性化を図ります。
- 地域内外におけるアクセスの充実を図るため、塩谷・新光間を結ぶ道道小樽環状線の整備を促進します。
- 地域内の長期未整備の都市計画道路については、その必要性等を総合的に点検・検証し、計画の見直しを行い、必要な道路の整備について検討します。
- 朝里川は、良好な都市環境を維持していく上で重要な緑の骨格軸として、地域の特性に応じ、河川管理者と調整を図り、親水性などに配慮した水辺環境の創出に努めます。
- 道路や公園など既存都市基盤施設の適切な維持・管理に努めるなど、安全で快適な市民生活の確保を図ります。
- 朝里川温泉地区の宿泊施設は、災害時における避難施設として、指定避難所との連携を図ります。





## (9) 銭函地域

### 1) 地域の概要

銭函地域は海岸と丘陵地に囲まれ、東側は札幌市や石狩市に隣接しています。

地域内には鉄道や高速道路、国道5号が横断しており、海水浴場、スキー場、ゴルフ場などのレクリエーション機能を有した小樽の東の玄関口となっています。

土地利用については住宅地・商業地のほか工業地も多く、国道沿いや石狩湾新港の背後地に大規模な工業団地が形成されています。

地域の人口動向は、減少傾向にあり、平成17～27年の減少率は、全市平均をやや下回っています。

世帯当たりの人員は全市平均を上回っています。

年齢階層別構成比では、老年人口比率が朝里地域に次いで低くなっています。



おたるドリームビーチ



張碓の恵比須島

## 2) 市民意向のまとめ

### ①生活環境について

- 生活利便性に不満はあるが、比較的住みやすいと感じています

公共交通機関や日常の買物は不便だが全体的には比較的住みやすいと感じています。

- 水辺空間を生かした親水性のある空間の創出や防災機能の充実などを望んでいます

星置川沿いの散策路や河口での公園整備のほか防災無線の整備などを望んでいます。

### ②地域の宝物について

- 宝物は、海・山の自然を挙げています

宝物として銭函海岸、スキー場・春香山、張碓の恵比須島、JR 銭函駅、星置川、桂岡・見晴からの眺望、小樽カントリー倶楽部などを挙げています。

### ③地域の現在のイメージについて

- 住宅地と工業団地が共存した自然が残る地域と感じています

海や山の自然があり、住宅地のほか、工業が盛んな工業地を持つ地域と感じています。

### ④地域の将来のイメージについて

- 将来は、自然を大切にした、利便性の高い快適な地域を望んでいます

自然を大切にしなが、道路整備や公共交通機関の充実を図るなど、利便性の高い快適な地域を望んでいます。



春香山周辺（スキー場）



銭函の海岸（海水浴場）



### 3) 地域づくりの目標

#### ①地域づくりのテーマ

『自然と調和した住環境や交流空間の形成と活発な産業活動を支える地域』

自然と調和した住環境や交流空間の形成と、まちの活力を生み出す産業活動を支える地域づくりをテーマとします。

#### ②地域づくりの目標

##### ● 自然と調和した住環境づくり ●

札幌圏に隣接している立地特性を生かしながら、恵まれた自然と調和した安心で快適な住環境づくりを目指します。

##### ● 産業振興を図る地域づくり ●

周辺の自然環境や住環境に配慮しながら活力ある産業活動を支える地域づくりを目指します。

##### ● 自然に配慮した交流空間の形成 ●

海や山の交流空間は周辺の自然に配慮しながら魅力の向上に努めスポーツ・レクリエーションが楽しめる空間の形成を目指します。

## 4) 地域づくりの方針

### ① 土地利用

- 桂岡の低層住宅ゾーンは、周辺の自然と調和した低層建物を主体とするゆとりと落ち着きのある住宅地として、良好な住環境の維持・創出を基本としつつ、計画的に開発された住宅地については、幅広い世代が住み続けられるよう、ライフスタイルの変化やライフステージに応じた多様な居住ニーズに適切に対応します。  
また、市道桂岡本通線などの沿線については、良好な住環境に配慮しつつ、周辺低層住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設の誘導を促進し、日常的な生活利便性の維持・向上を図ります。
- 銭函、張碓、桂岡などの中高層住宅ゾーンは、低層建物と中高層建物が共存する中密度の住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図ります。
- 銭函、星野、張碓などの幹線道路背後に位置する一般住宅ゾーンは、住宅や店舗などの生活利便施設などが適度に混在し、身近でサービスが受けられる利便性の高い住宅地の維持・創出を図ります。
- 銭函の住商複合ゾーンは、周辺住宅地の生活サービスを担う身近な生活利便施設や住宅などが複合する拠点性のある商業地の形成を図ります。
- 国道5号の沿道サービスゾーン及び住商複合ゾーンは、交通状況や近隣の市街地環境に配慮しつつ、沿道におけるサービス施設の立地を誘導し、周辺の利便性を高めます。
- 石狩湾新港背後地区の工業流通ゾーンは、今後の工業・流通の発展動向や社会経済情勢の変化を考慮した適正な配置を基本とし、複合的な土地利用を図ります。
- 銭函工業団地の工業流通ゾーンは、北海道職業能力開発大学校など近隣の教育・研究機関との連携を図りつつ、都市型工業の集積や新たな産業の立地にも対応します。
- 銭函、桂岡、張碓などの住工共生ゾーンは、都市型工業と住宅が共存する職住近接型の地区として、都市型工業の集積や既存施設機能の更新においては、周辺環境との調和に努めます。
- JR 銭函駅やほしみ駅周辺については、周辺の市街地環境に十分に配慮しながら、その交通便利性や札幌市に近接する地域特性を生かし、複合的な土地利用を検討します。

### ② 都市環境等

- 春香山周辺地区の山麓ライン交流エリアは、ハイキングやウィンタースポーツなど、多くの人を楽しむことのできる交流の場として、自然環境に配慮しながら活用を図るとともに、季節に応じた魅力の発信に努めます。
- 銭函の観光・レクリエーション交流エリアは、海水浴やマリンスポーツなど多くの人を楽しむことのできる交流の場として、自然環境に配慮しながら活用を図るとともに、季節に応じた魅力の発信に努めます。
- 地域内の長期未整備の都市計画道路については、その必要性等を総合的に点検・検証し、計画の見直しを行い、必要な道路の整備について検討します。
- 星置川などは、良好な都市環境を維持していく上で重要な緑の骨格軸として、地域の特性に応じ、河川管理者と調整を図り、親水性などに配慮した水辺環境の創出に努めます。
- 道路や公園など既存都市基盤施設の適切な維持・管理に努めるなど、安全で快適な市民生活の確保を図ります。
- 工業流通ゾーンなどについては、周辺の環境向上のため、個々の工場敷地内の緑化等を促進します。

図 4-10 地域別方針図 (銭函地域①)

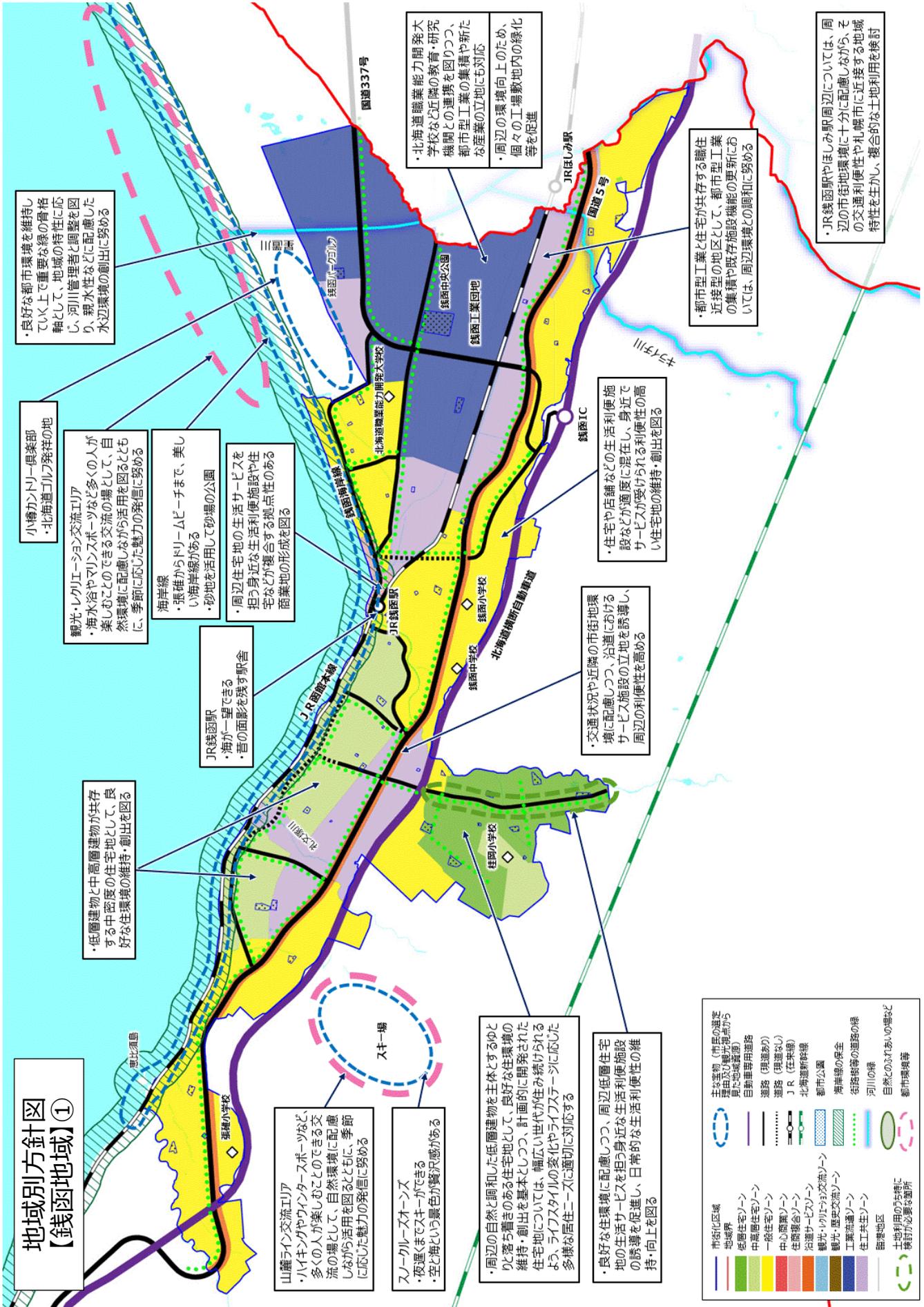




図 4-11 地域別方針図 (銭函地域②)

